

## 6/27 看護情報学特論 I 質疑応答

### 【寺嶋さん：子宮頸がんの予防とヘルスリテラシー】

- ・ HPV は男性も感染することを知った。アメリカでは男性の死亡率もそれなりに高い。
- ・ 子供のヘルスリテラシーの機会と捉えることができるか。ニュースで見るのは、母親が悩んでいる光景。
- ・ 日本の学校保健教育にはエビデンスがない  
→少ない人員で、研究にまで手が回らない
- ・ 男性の養護教諭
- ・ ワクチンの費用は？ →4～5 万円
- ・ 検診の受診の仕方を教える必要性があるのではないか  
受診へのハードルを下げるができる
- ・ イギリスの検診。未受診だと督促が来る
- ・ 健康の話は、市場原理では成り立たない分野。メディアが取り上げると、そっちに流れていく
- ・ ヘルスリテラシーはメディアリテラシーに関わっていく。どう教えていくのかの検討が必要。

### 【松本さん：HEALTH 2.0】

- ・ Jawbone の高齢者への活用もできそう
- ・ Health2.0 はなにか？

大勢対大勢のコミュニケーションが取れるようになったその現象を Web2.0 と捉える。

Health2.0 は、その Web2.0 の双方向コミュニケーションのメリットを活かした健康情報のありかた

Health2.0 の定義：User-generated content(UGC)がスタートであり基本

- ・ ビッグデータ 情報社会
- ・ patients like me の活用の可能性。研究への応用。

### 【福地さん：メディアに映される看護師像に満足していますか？】

- ・ インドの看護師の登場する携帯電話の CM は、インドでは批判されないのか？  
もともと女性の社会的地位の低さがあるので、取り上げられていない可能性。
  - ・ 看護師が、社会的イメージをどう考えているのかという研究はないのか？  
日本では特に見当たらないような。
- メディアの看護師像に「だまされた」と感じる新人看護師がいる事実
- ・ 大学教育などの教育の高度化でイメージも変わってくるのでは？